

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,366
		2号炉	2,800
		3号炉	3,998

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	962	800 以上
		2号炉	3月31日	950	
		3号炉	3月31日	985	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	6	100 以下
		2号炉	3月31日	9	
		3号炉	3月31日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ダンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。